



令和 8 年台風第 25 号により被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。

2026 年度

日合商第二回理事会並びに 第一回合板需給懇談会 開催ご案内

日合商第二回理事会

開催日時 2026 年 10 月 21 日(水) 13:30 ~ 14:30
開催場所 LEVEL XXI(Twenty-One) 東京會館「スタールーム」
議 事

- ① 2026 年度上期事業報告及び決算見込みの件
- ② 役員欠員に伴う補欠役員選任の件
- ③ 第 48 回通常総会(総代会)の件
- ④ 会勢強化の件
- ⑤ その他

報告事項

- ① 2026 年度要望(陳情)について

第一回合板需給懇談会

開催日時 2026 年 10 月 21 日(水) 14:45 ~ 16:45
開催場所 LEVEL XXI(Twenty-One) 東京會館「スタールーム」
議 題

- ① 林野庁の行政活動について
- ② 国内合板の供給動向について
- ③ 国内各地の需要動向について
- ④ その他(質疑応答)

懇親会

開催日時 2026 年 10 月 21 日(水) 17:00 ~ 18:30
開催場所 LEVEL XXI(Twenty-One) 東京會館「スタールーム / 立食」

更にパワーアップ!

福利厚生サービスの向上を図る

福利厚生制度

「損害保険 / 集団扱制度」
ご紹介!

2024 年度よりスタートした福利厚生制度
「損害保険 / 集団扱制度」に新たに「工事の
保険〈工事の保険特約付帯建設工事保険〉」
が加わりました!

工事の保険

〈工事の保険特約付帯建設工事保険〉

工事にかかわる財物の損壊・盗難リスクに備える保険で、
工事現場または輸送中に工事の対象物や工事用の動産に生
じた損害を補償します。オプションで特約を追加すること
で、工事物件引渡し後のリスクを補償することも可能です。

お問合せ

日新火災海上保険(株)
マーケット開発部
戦略マーケットグループ
萩原優香まで

TEL: 03-6705-2436 FAX: 03-5619-0066



GEO × LIVE
地球 × 生きる


GEOLIVE

次の生き方をつくろう。



合板需給検討委員会 2026 年 9 月 3 日の検討結果

日本合板工業組合連合会・日本木材輸入協会・日本合板商業組合による「2026 年度第二回合板需給検討委員会」を林野庁木材利用課で臨席のもと、合板会館（日合商会議室）において開催。木材行政推進のための情報として林野庁に提供した合板の短期需給見通しの検討結果です。

国産合板の需要

1. 令和 8 年第 2 四半期の実績について

今回（681 千㎡）
（実績数量の背景、前年同期との比較等）

当期の新設住宅着工戸数は前年同期を大幅に上回ったものの、前年が法改正の影響で大きく落込んでいたことによるものであり、一昨年との比較では依然低水準にあり、本格的な需要回復には至っていない。この様な中、中東情勢の緊迫化による先高観や供給不安を背景に、需要側の在庫補充の動きが強まり、一時的な仮需が発生した。一方、供給面では価格の上昇は続いているものの、前年同期並みの供給量が維持された。6 月に入ると供給不安が徐々に後退し、ルート系商流では引き合いが弱まったものの、直需系商流では、分譲系ビルダーを中心に需要が堅調に推移した結果、需要量は前回予測を上回り、前年同期比 105.4%の結果となった。
2. 令和 8 年第 3 四半期の見込みについて

今回（610 千㎡）
（見込み作成の根拠、前年同期との比較等）

供給面では、接着剤不足が改善し、生産体制は概ね平常化へ回復している。一方で、接着剤や燃料費等の高騰を背景に価格は引き続き上昇基調にある。需要面では、ルート系商流で仮需の収束や在庫補充の一巡、需要低迷により荷動きが停滞し、在庫の消化を優先した動きとなっている。これに対し、直需系商流では分譲系ビルダーやハウスメーカーの着工が堅調で、需要は底堅く推移し、商流による需要の二極化が鮮明となっている。前年同期は法改正の影響で住宅着工が落込み、両商流とも低調であったが、今期は直需系がルート系の落込みを補い、前年同期比 99.6%とほぼ前年並みの水準となる見込み。
3. 令和 8 年第 4 四半期の見通しについて

今回（640 千㎡）
（見通し作成の根拠）

ナフサ由来建材の供給不安は徐々に解消され、これまで対応が遅れていた一般工務店においても見積が進展していることから、新築をはじめリフォーム需要の増加が見込まれる。供給側の生産体制も平準化しており、価格は引き続き上昇基調であるものの、市況が大きく軟化しなければ、着工に見合う需要は発生すると予測される。また、需要側では第 2 四半期に積み増した在庫の消化が進むにつれ、新規発注の動きも徐々に活発化すると見込まれ、需要は第 3 四半期を底として改善に向かう見通し。
（前年同期との差異について）
結果、前年同期比 96.0%の見通し
4. 令和 9 年第 1 四半期の見通しについて

今回（630 千㎡）
（見通し作成の根拠）

金利上昇に伴う住宅ローン金利上昇が新築着工に与える影響によって、今後の需要動向は左右される見通しである。一方、分譲系ビルダーやハウスメーカーにおける着工は、期末に向けて堅調に推移すると予測される。また、価格が安定的に推移する環境が維持されれば、着工戸数に見合った需要が発生し、前年を上回る水準で推移する見通し。
（前年同期との差異について）
結果、前年同期比 103.1%の見通し

合板 短期需給見通し

(Unit：1,000㎡)

		供給			需 要（出荷）			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2026(R8)4-6	前回予測	(1,141)	(620)	(521)	(1,180)	(640)	(540)	(879.156)	(99.409)	(779.747)
	実績	1,206.419	647.612	558.807	1,243.651	681.355	562.296	881.227	85.666	795.561
7-9	前回予測	(1,155)	(630)	(525)	(1,120)	(600)	(520)	(914.156)	(129.409)	(784.747)
	見込み	1,189.567	640.000	549.567	1,120.000	610.000	510.000	950.794	115.666	835.128
10-12	前回予測	(1,155)	(630)	(525)	(1,180)	(650)	(530)	(889.156)	(109.409)	(779.747)
	見通し	1,148.000	630.000	518.000	1,170.000	640.000	530.000	928.794	105.666	823.128
計		4,693.831	2,534.530	2,159.301	4,683.437	2,542.213	2,141.224			
2027(R9)1-3	見通し	1,163.000	630.000	533.000	1,160.000	630.000	530.000	931.794	105.666	826.128

輸入合板の需要

1. 令和 8 年第 2 四半期の見込みについて

今回（562 千㎡）
（実績数量の背景、前年同期との比較等）

中東情勢の緊迫化に伴い、原産地では産業用ディーゼル価格の上昇等で伐採事業者の採算悪化から、一部で伐採停止が発生し原木供給量が減少した。加えて海上運賃の上昇や円安進行の影響により、現地の生産価格は上昇基調で推移した。需要面では、国産合板同様に価格上昇への警戒感や供給不安により在庫補充の動きが強まり、一時的な仮需が発生し、品薄や欠品が散見された。ただし、6 月に入ると流通在庫も充足し、首都圏での入荷増加により供給不安は徐々に緩和した。当期は前年の当用買い主体の状況と異なり仮需的需要も見られたことから、需要量は前回予測を上回り、入荷量と同水準の前年同期比 105.8%の結果となった。
2. 令和 8 年第 3 四半期の見込みについて

今回（510 千㎡）
（見込み作成の根拠、前年同期との比較等）

原産地では、原木価格の上昇に加え、人件費や燃料費の高騰、円安の影響により製品価格の上昇基調が続いている。一方、輸入商社は国内相場との価格乖離により、新規発注を抑制している。このため、一部の現地シッパーでは輸出先を米国や中東ヘシフトする動きも見られる。国内では仮需の収束と在庫補充の一巡により荷動きは低調で、欠品や品薄品は一部あるものの需給に大きな混乱はない。また、首都圏港湾倉庫の保管スペース縮小による満床状態が続いていることも低調な荷動きの要因と考えられる。前年同様に需要低迷が続く中、今期は第 2 四半期に積み増した在庫の影響で新規発注は更に抑えられ、需要は前回予測及び前年同期を下回る前年同期比 95.4%となる見込み。
3. 令和 8 年第 4 四半期の見通しについて

今回（530 千㎡）
（見通し作成の根拠）

再開発案件も少ないことから、荷動きは低調に推移。足元では円高基調が見られるものの、市場に流通する製品の多くは円安局面で契約されたものであり、価格面への反映には時間を要すると考えられる。需要側は今後予定される大型開発物件に向けた資材確保を意識する一方、為替相場変動による警戒感もあり、積極的な手配には至らないと予測される。一方、住宅着工戸数には持ち直しの動きが見られ、流通在庫は徐々に減少すると見込まれることから、需要は前回の見通しと同水準で推移する見通し。
（前年同期との差異について）
結果、前年同期補 100.3%の見通し
4. 令和 9 年第 1 四半期の見通しについて

今回（530 千㎡）
（見通し作成の根拠）

生産コスト等の上昇により現地価格は上昇基調で推移する見込みだが、輸入商社は為替相場の先行きが不透明であることから、新規発注には慎重な姿勢を継続するとみられる。一方、需要側は大幅な為替の変動が無ければ、今後本格的に動き出す大型開発物件に備えた製品確保の動きが継続すると予測され、需要は前期と同水準で推移する見通し。
（前年同期との差異について）
結果、前年同期比 98.3%の見通し



ライトモルタル柄



コンカーボ
DIRECT
タイルコート

約300mm幅のワイドサイズ
床暖房対応の直貼り遮音フローリング

幅広サイズでモチーフとなる素材の表情を余すところなく表現しました。
新築マンション、リフォーム、リノベーションに最適です。
また、トレンド感ある異素材ミックスコーディネートが可能です。

木を活かし、よりよい暮らしを

永大産業株式会社
www.eidai.com

お客様相談センター
☎0120-685-110
受付時間 平日 9:00~17:00
休業日 土曜日、日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始

EIDAI
ホームページ



EIDAI
Instagram





美しさ、機能性、環境性を兼ね備えた、
かつてない選択肢。



WOODRIUM

木を諦めてきたキッチンや洗面台のカウンタートップなどにもお使いいただけます。

WOODTEC
朝日ウッドテック株式会社

JK 情報センターによる
需要動向予測調査（抜粋）

2026(令和 8)年 10 月～12 月期見通し

工務店様・販売店様による需要予測

2026 年 1 月～6 月の累計着工数は 36.8 万戸となり、前年同期の 36.2 万戸を上回った。前年 1 月～6 月は法改正前後で駆け込み需要とその反動減があり不安定な期間であったが、半年間の推移で比べると微増となっている。利用関係別の中では 2025 年比で持家が 103%、分譲一戸建てが 111% となったが、2024 年比で見ると持家は 95%、分譲一戸建ては 101% となっており、戸建てでは分譲系の回復度が高くなっている。中東情勢の不安定化で起きた供給制限の影響が、回復度合いをみてもどの分野に影響が大きかったのかが窺える。

そのような中、2026 年 10 月～12 月の需要予測がまとまった。前回調査では中東情勢の影響が色濃く反映されたが、今回の予測では工務店はマイナス 24.1 ポイント、販売店はマイナス 31.2 ポイントとマイナス幅は縮小したものの、依然マイナス 20 ポイントを下回る結果となった。情勢が安定しない中、国内では地震や豪雨被害

などによる住宅の損壊も発生しており、自然災害への備えも求められる。災害復興に向けての動きが本格化し、秋の需要期を迎えた後の次回調査にも注目したい。

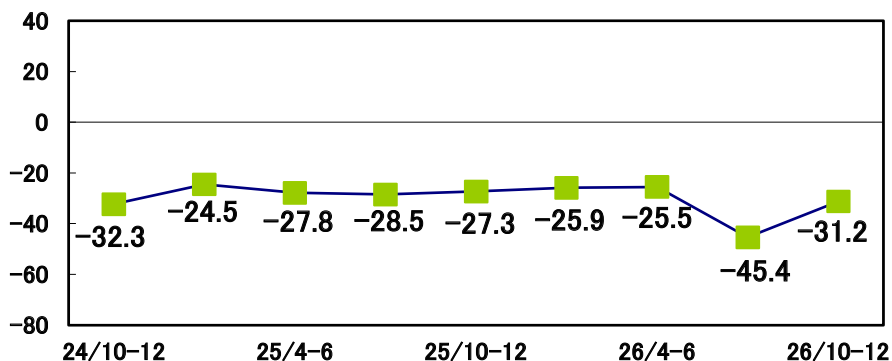
主要メーカー様による販売予測

各分野メーカーの予測でも前回調査から改善した。その中でも『木質建材』『窯業・断熱』は増加予測が減少予測を上回りプラスのポイントとなった。『合板』『住設機器』は減少が大きく上回り厳しい見立てが続いている。

	増加予測	前年並予測	減少予測
合 板	12.6%	49.9%	37.6%
木質建材	35.7%	42.9%	21.3%
窯業・断熱	33.4%	38.0%	28.5%
住設機器	18.8%	49.9%	31.3%

販売店様による景気動向の推移

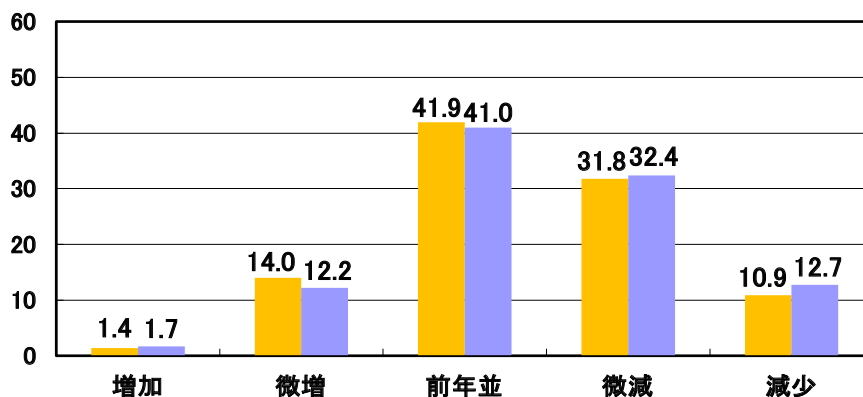
過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。



販売店様による地域別需要予測

全 国 回答数 2,705
「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。
単位は、「%」となります。

2025年 10月～12月 2026年 10月～12月

Deck ND
KKAA

間伐材で実現する
美しい木の質感と
高い耐久性を併せ持つ
新しい再生木

Louver
KKAAFUKUVI
フクビ化学工業株式会社[本社] 〒918-8585 福井県福井市三十八社町 33-66
TEL 0776-38-8011 <https://www.fukuvi.co.jp/>特設サイト
こちら>>>

高度な加工技術
細部へのこだわりと
卓越した職人の加工技術力

木と共に、未来を創る

私たちは、木材への深い理解と卓越した加工技術で、
木の魅力を最大限に引き出す製品作りに真摯に取り組んでいます。

住友林業フレスト株式会社

<https://www.sumirin-crest.co.jp>

10 月 2 日（金）

第 41 回関東四支部合同懇親ゴルフ会を開催しました。

千葉カントリークラブにて 参加 62 名

多くの方が一堂に会し、忌憚のない交流ができる場として関係者の皆様方にご好評を頂き、業界の大きな恒例イベントの一つとなっている北関東・東関東・東京・神奈川の 4 支部による合同懇親ゴルフ会で親睦を深めました。

【成績 TOP5】(敬称略)

優 勝 古島 司
準優勝 渡辺 剛
3 位 石上 幸太郎
4 位 鶴原 栄一
5 位 足立 建一郎

4支部支部長代表挨拶
東京支部小川明範支部長足立建一郎理事長
挨拶青木慶一郎 懇親ゴルフ会
実行委員長 挨拶優勝者 北関東支部 古島 司氏に
小川明範支部長代表より優勝記念品を贈呈

合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部
東京都ベニヤ板問屋協同組合
新風会 猪爪 清和

概要

2026 年 7 月の新設住宅着工戸数は 66,439 戸（前年同月比 8.2%増）で 4 ヶ月連続の増加となった。その内、木造住宅は 39,547 戸（前年同月比 6.8%増）で 4 ヶ月連続の増加となった。季節調整済年率換算値は 77.4 万戸で前月比 1.6%減、3 ヶ月ぶりの減少となる。

利用関係別では、持家が 17,730 戸（前年同月比 0.4%増）で 4 ヶ月連続の増加、貸家は 30,164 戸（同比 10.0%増）で 4 ヶ月連続の増加、分譲住宅は 18,208 戸（同比 14.6%増）で 4 ヶ月連続の増加となった。分譲の内訳はマンションが 7,448 戸（同比 24.7%増）3 ヶ月連続の増加、戸建ては 10,578 戸（同比 9.0%増）で 4 ヶ月連続の増加となった。

持家、貸家、分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比 8.2%の増加となった。

国内・外合板の供給量

7 月の国内合板生産量 23.2 万 m³（前月比 99.8%、前年同月比 108.8%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は 23.0 万 m³（同比 100.3%、108.4%）となり、出荷量は 21.1 万 m³（同比 88.0%、101.4%）で在庫量は 17.5 万 m³となった。

輸入合板の 7 月度入荷量は 19.4 万 m³（前月比 92.3%、前年同月比 104.3%）とな

た。国別入荷量は、マレーシアが 4.7 万 m³、インドネシアが 5.9 万 m³、中国が 4.2 万 m³、ベトナムが 3.8 万 m³、ロシアが 0.5 万 m³となっている。

今後の見通し

国内針葉樹合板は、9 月に入ってもルート系では仮需の反動減が続いており、当面は落ち着いた市況で推移する見通しだ。一方で、直需系やハウスメーカー、分譲ビルダー系では引き続き堅調な需要が見られ、先々の受注も好調との声が聞かれるなど、需要動向には温度差が生じている。このような状況は当面続くと思われ、流通ルートが適正な需給バランスを取り戻すには、一定の時間を要するものと思われる。中東情勢の先行きは依然として不透明であり、原材料や物流コストが大きく低下することは想定しにくい環境が続いている。これからの需要を考えると、メーカー・商社・問屋が節度をもった生産・販売を心掛けることで、減産を含めた生産調整が更に進んでいけば、需要回復が期待される。しかし、緩んだ減産体制を再度表明し維持できるかに対しては、まだ不安の声は完全に払拭出来ていないので、今後の需要回復のためにも、メーカー各社の対応に期待したい。

輸入合板は、国内針葉樹合板同様に引き合いが低調で、港湾倉庫からの荷動きも鈍化している。首都圏では倉庫の満床に伴う入港制限も見られ、需給調整が続く中、全体として静かな荷動きが続いている。一方、産地価格は依然として高止まりしており、製造コストも丸太不足や現地通貨高などの影響で高水準が続くことから、対日価格が下がる兆しは乏しい。現在の輸入国内市況は一服感があるものの、今後の入港量を考慮すると、需要増加で荷動きが出てくると直ぐに在庫が不足する状況である。為替の動向なども踏まえ状況を常に把握することが必要と考える。



樹をテクノロジーする会社です

KEY+TEC™

https://www.key-tec.co.jp



FIBER + GLASS 旭ファイバーグラス株式会社

高性能グラスウール
断熱等性能等級6^{G2水準}以上なら

アクリア アルファ
Acclera^α
Safe & Clean

◆ 熱伝導率 **0.032 W/(m・K)**
※アクリア TSa・アクリア a36K

◆ 環境にやさしい製品づくり
リサイクルガラス
主原料比率 **85%以上**

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目6番地3 神田三菱ビル
TEL : 0120-99-6388 FAX : 0467-74-1761
MAIL : nandemo@afgc.co.jp

日合商ホームページ

トピックスより抜粋

<https://www.nichigosho.net/topics/>

2026.10.05 お知らせ

【日本合板工業組合連合会】2026 年度合板技術講習会（～広がる合板の世界～）開催のご案内
2026 年 11 月 13 日（金）、（公社）日本木材加工技術協会合板部会・日本合板工業組合連合会主催。
※対面・オンライン併催、対面は申込先着順 20 名限定
研修会の詳細は、「2026 年度合板技術講習会 開催案内」より

2026.09.18 官公庁からのお知らせ

【林野庁】【周知依頼】「専門高校等における産業界との連携・協働のための専門人材バンク構築事業」の取組・チラシについて

文部科学省より、林野庁経由にて、林業高校等の専門高校が企業・産業界とつながることでより実践的な学びが可能となり、そうした学びを得た人材を林業・木材産業界への就職等につなげられるよう、文部科学省で進めている専門高校と企業とをつなぐポータルサイト構築について周知依頼がありました。

文部科学省では、専門高校の教育への協力（講師派遣、企業見学、インターンシップ受入れなど）をいただける機関や企業を募集しており、ご協力をいただける場合は、チラシの QR コードから、登録フォームにアクセス、必要な情報を入力。入力情報は、ポータルサイト運営事業者（事務局）において蓄積・整理を行い、ポータルサイト上で公表（令和 8 年 11 月頃公開予定）。また、事務局において、企業と連携を希望する専門高校等との円滑な橋渡しを支援します。

専門高校等は、掲載された協力企業の情報をポータルサイト上で確認した上で事務局へ連携を申し込むことができる仕組みとする予定ですが、ポータルサイト公開前であっても、事務局において企業からの相談・登録申込及び専門高校からの連携希望の受け付け可能。

詳細・登録：協力企業等登録ご案内チラシ【文部科学省専門人材バンク構築事業】より

2026.09.15 官公庁からのお知らせ

【お知らせ】「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」林野庁 HP に 9 月号公表
9 月号では、令和 9 年度林野庁関係予算概算要求の概要や、「原木需給モニタリングレポート」の公表などについて特集しています。

日合商 WEB セミナーご案内

※詳細については、各支部事務局よりご案内いたします。
日合商ホームページにて 10 月 13 日（火）申込受付開始予定

22026 年度第 3 回定期セミナー

11 月 19 日（木）

YouTube 配信 14：00～15：30

講師

清水英雄事務所株式会社 代表取締役社長 清水大悟 氏

テーマ

補助金だけ見ていては分からない！

概算要求から読み解く

2027 年度の住宅市場・国策・ビジネスチャンス

概要

国は、これからの住宅・不動産市場をどの方向へ動かそうとしているのか。国土交通省・経済産業省・環境省・林野庁・内閣府などが公表した 2027 年度（令和 9 年度）概算要求から、住宅・不動産・建築業界が特に注視しておくべき施策を抜粋して解説。前年との違いや各省庁の重点分野を横断して見ることで、これから国が力を入れる市場や、住宅・不動産業界が先回りして準備すべきテーマが見えてきます。これからの市場を「起きてから対応する」のではなく、国策から一歩先を読むための 90 分です。

【グリーン購入法】に基づき

2026 年 9 月末現在

事業者認定・期限更新した 2 社

北海道 -0025- ⑤ (有)大沼ベニヤ商会 代表取締役 大沼 大

東京・新潟 -0117- ⑥ 青山建販(株) 代表取締役 青山 美土里

東京の合板卸売り価格(円)

※東京都ベニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より
(注) 1 車単位 (10 トン) 問屋売り価格 (JAS 製品)

品 目		9 月 9 日	前週比	9 月 16 日	前週比	9 月 30 日	前週比	10 月 7 日	前週比
ラワン JAS F☆☆☆☆	2.3mm T2	970	0	970	0	970	0	970	0
	4.0mm //	1,260	0	1,260	0	1,260	0	1,260	0
	5.5mm //	1,450	0	1,450	0	1,450	0	1,450	0
	9.0mm //	2,080	0	2,080	0	2,080	0	2,080	0
	12.0mm //	2,660	0	2,660	0	2,660	0	2,660	0
針葉樹 構造用	F☆☆☆☆ 12mm C-D	1,750	0	1,750	0	1,750	0	1,730	-20
	F☆☆☆☆ 24mm 実付	3,800	0	3,800	0	3,800	0	3,760	-40
	F☆☆☆☆ 28mm 実付	4,550	0	4,550	0	4,550	0	4,500	-50
	F☆☆☆☆ 9mm 3×10	2,750	0	2,750	0	2,750	0	2,720	-30
輸入・型枠用	12mm JAS 製品	2,080	0	2,080	0	2,080	0	2,080	0
輸入・構造用	F☆☆☆☆12mm JAS 製品	2,170	0	2,170	0	2,170	0	2,150	-20

JAS 標語

建築に品質たしかな JAS マーク

木の佳さを生かす良い品 JAS 製品

家づくり品質たしかな JAS 製品

Panasonic

空間を広く、選びやすく

パナソニックのインテリア建材「ベリティス」が
大幅リニューアルしました。

従来比約40%^{※1}アップの大採光ドア

広がりを感じる明るい色柄

スマホで約5分写真de AI積算^{※2}詳しくは
こちら

こたえる、アイディアがある。

VERITIS

※1. 当社従来品MC型と新商品MP型を、上吊り引戸当社標準サイズDW814mm×DH1979mmで比較した場合
※2. 本アプリは各アプリケーションストアからダウンロードできます。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社

くらしの「ずっと」をつくる。

